

デジタルを活用したこれからの学校について

令和 5 年 1 月 3 0 日

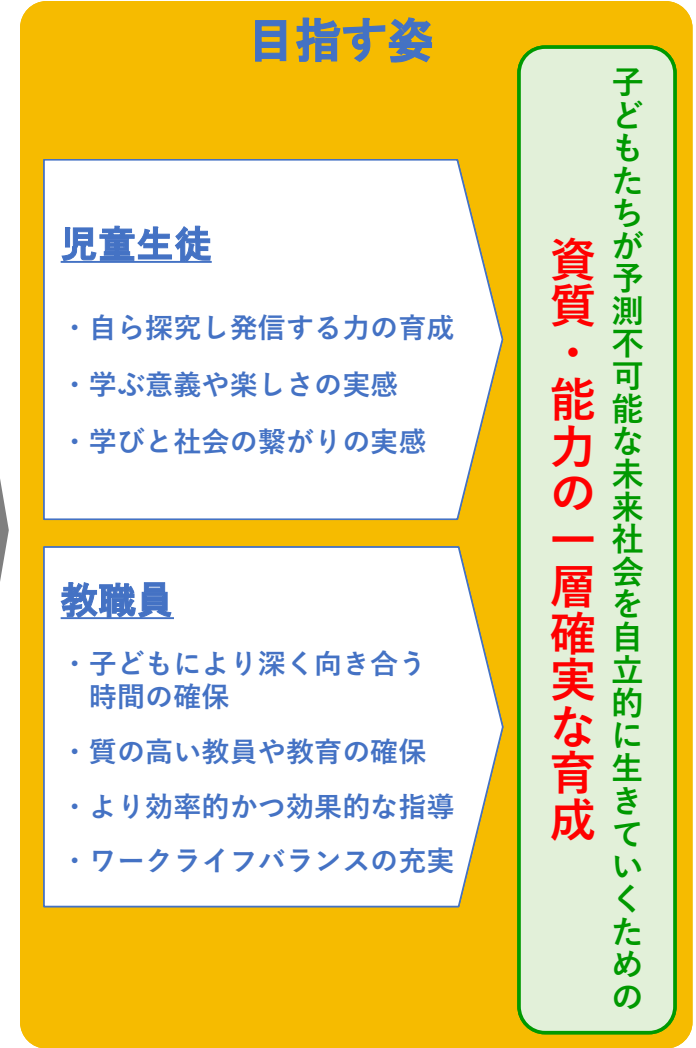
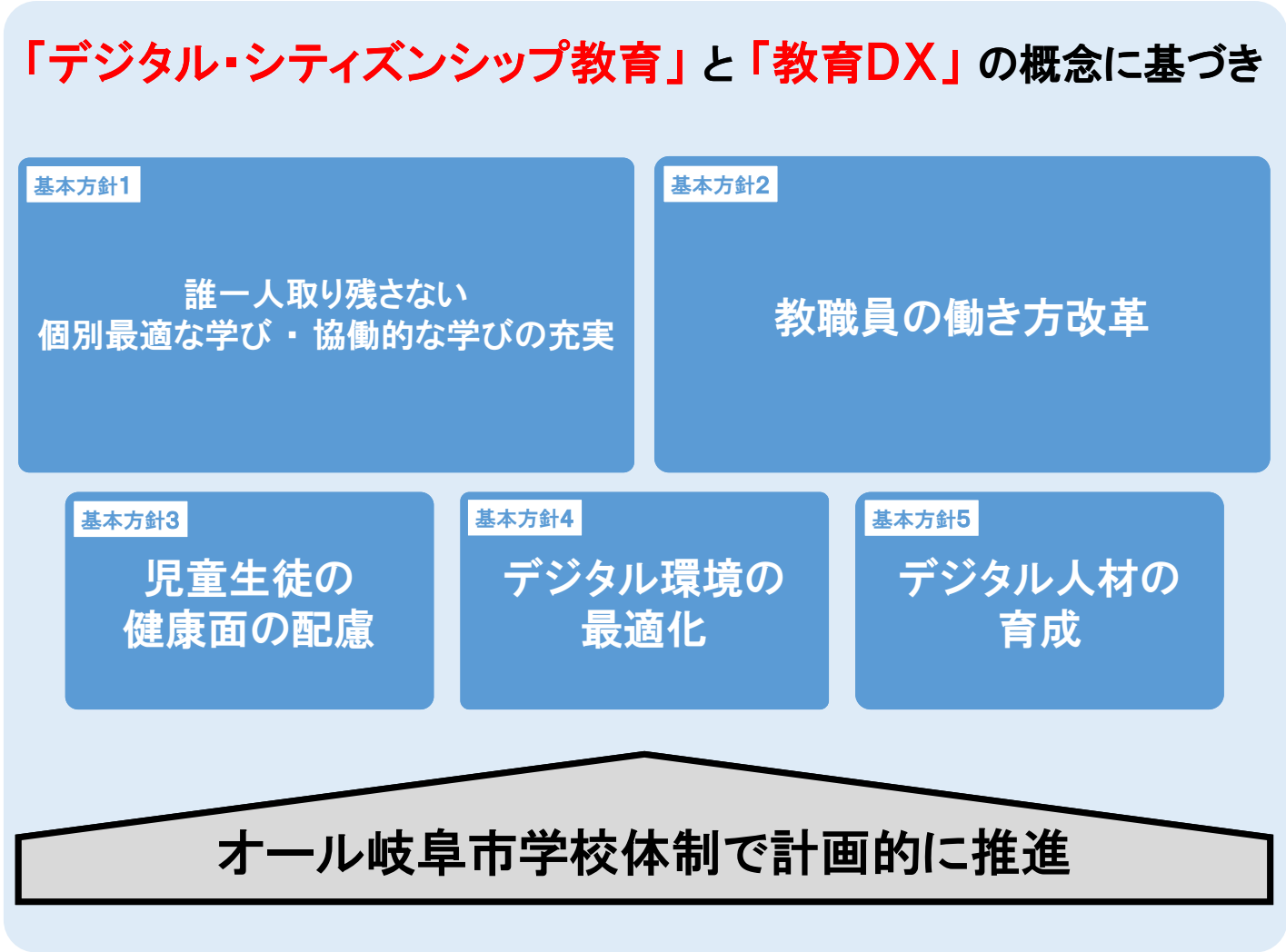
G I G A スクール推進室

目次

- 1 岐阜市の目指す姿
- 2 進捗状況
- 3 今後の取組み

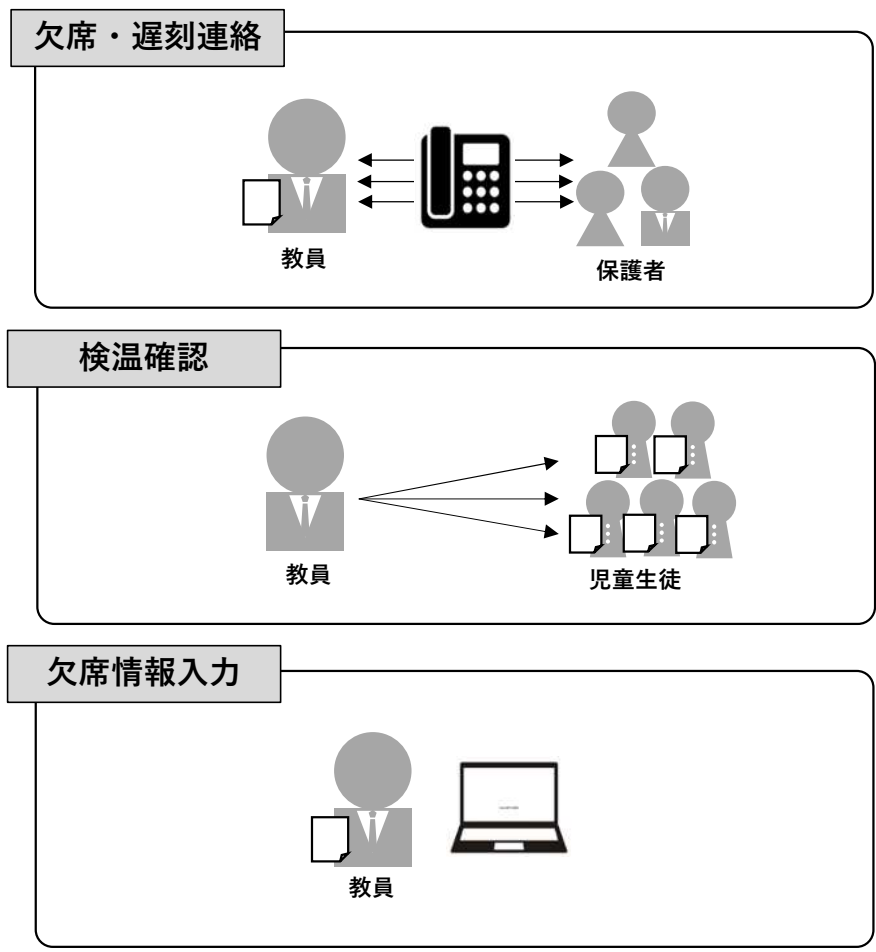
1 岐阜市の目指す姿

1) 岐阜市GIGAスクール推進計画

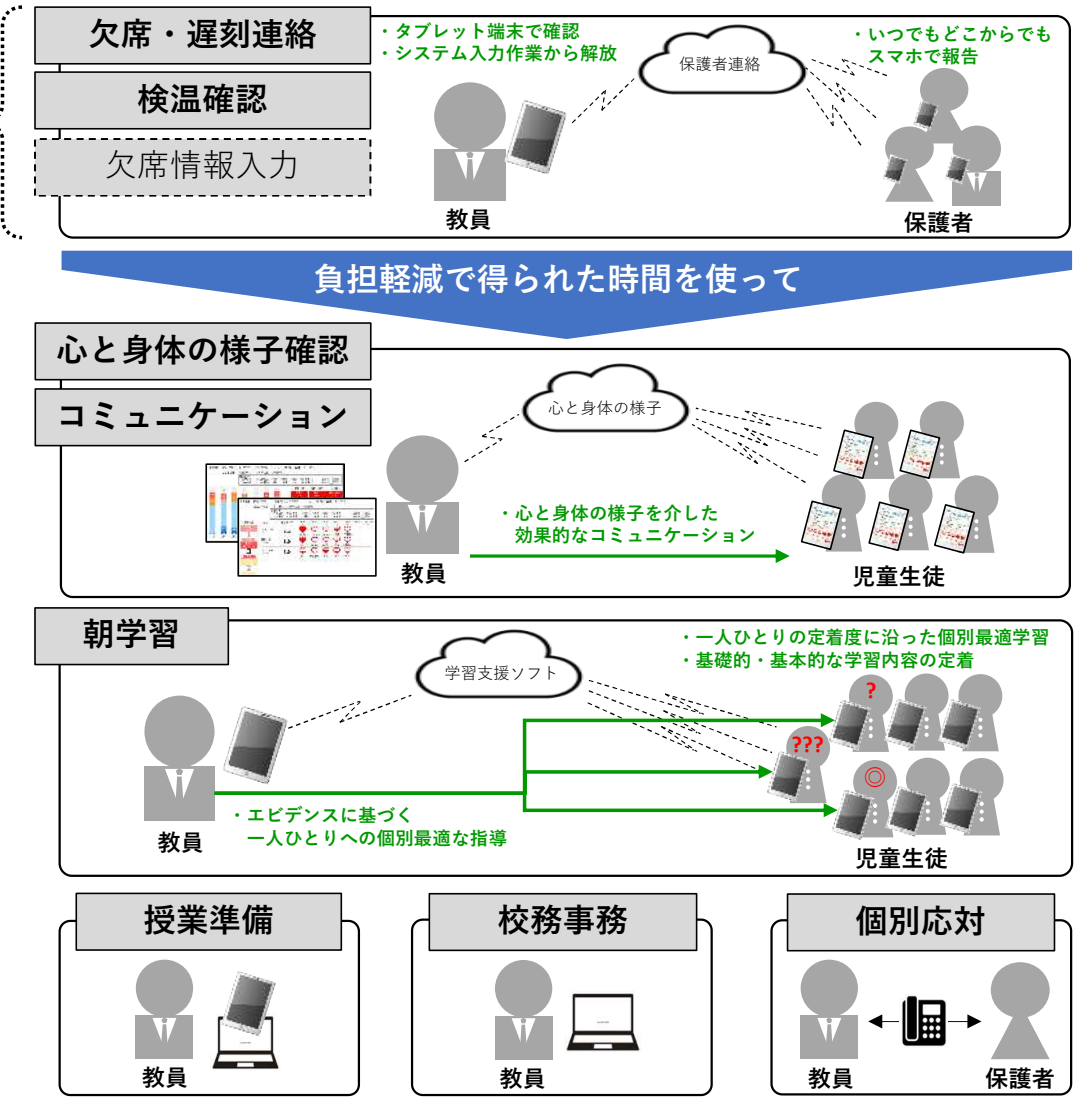


2) デジタルを活用したこれからの学校のように ①朝のように

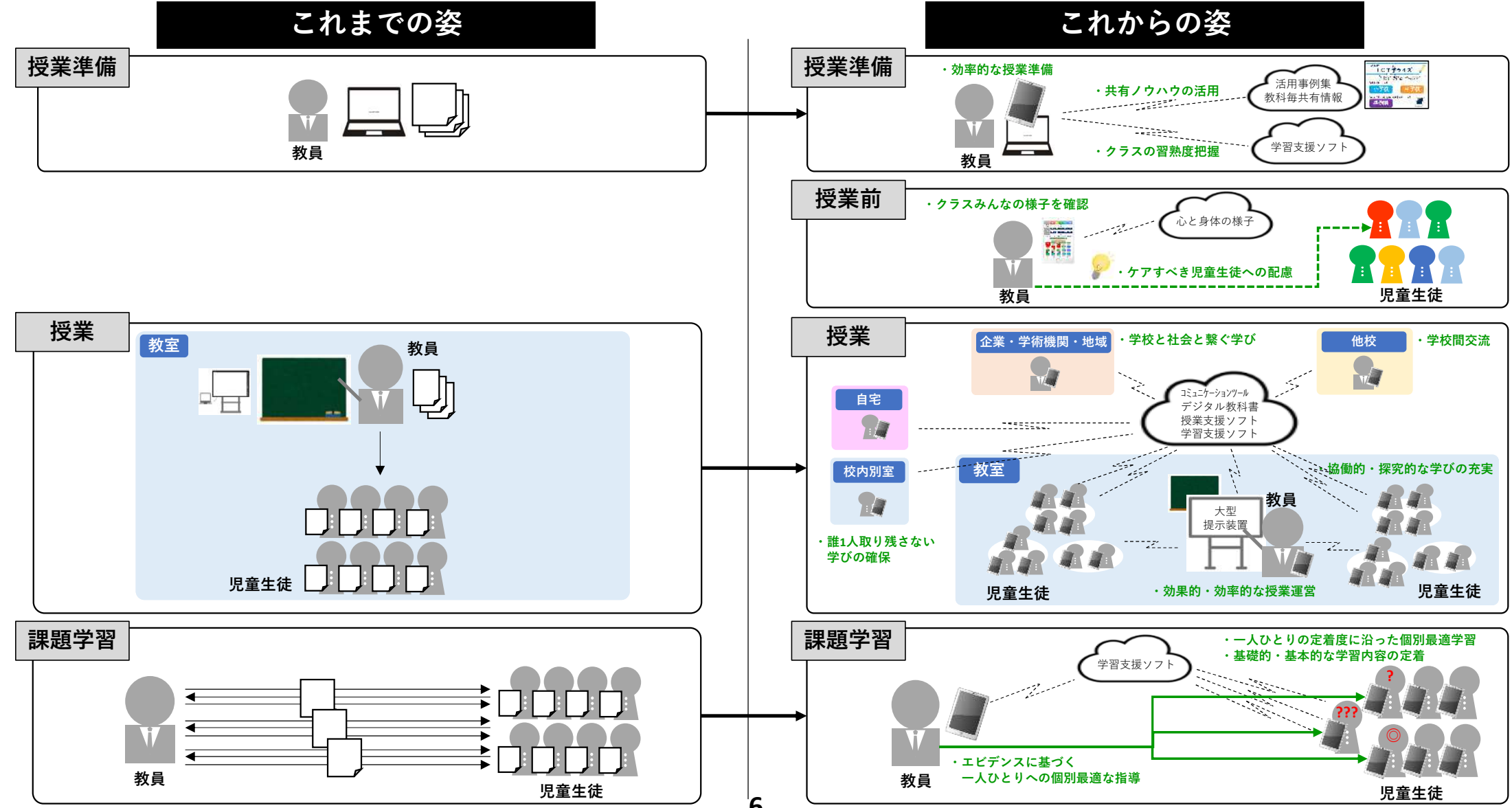
これまでの姿



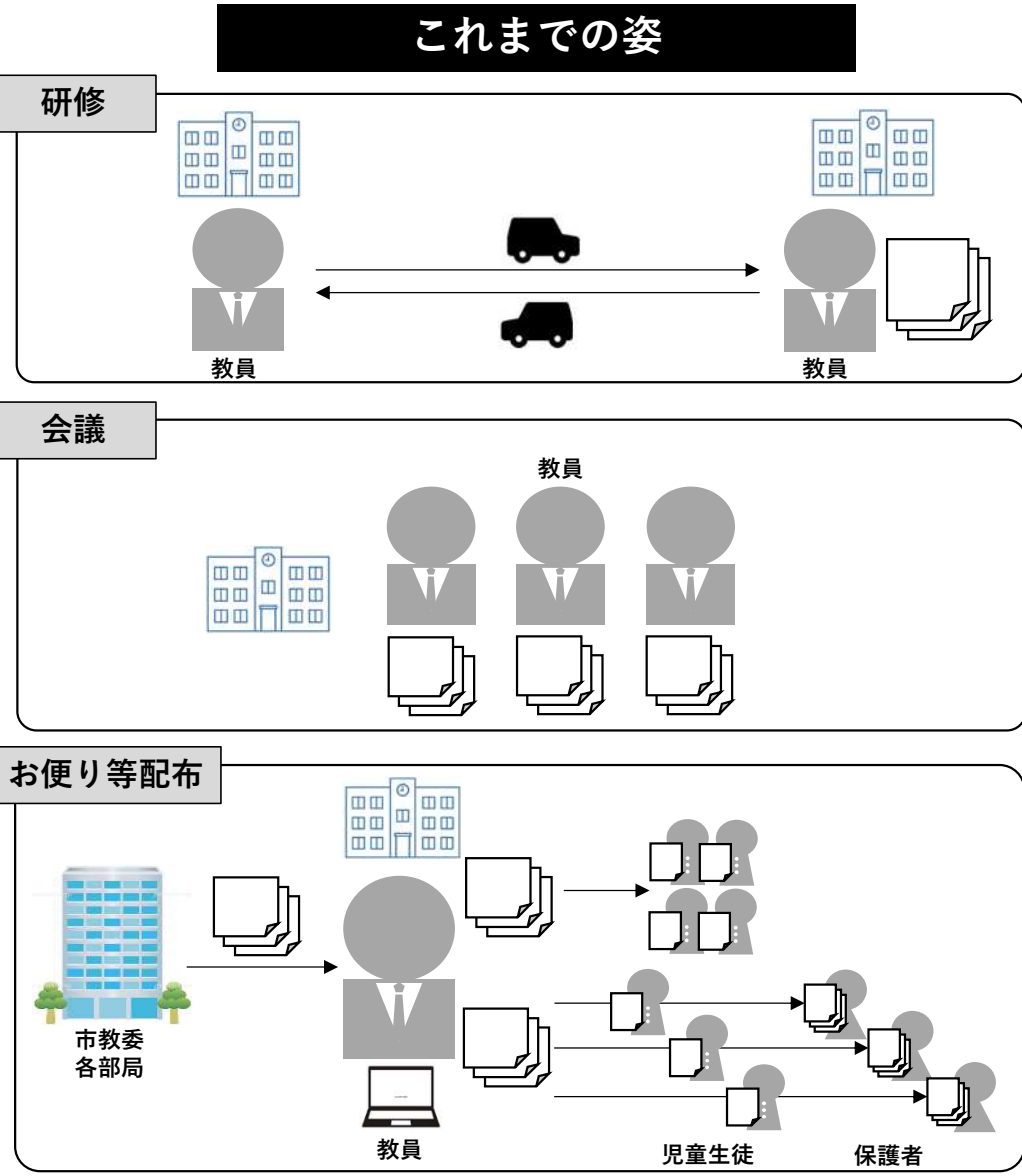
これからの姿



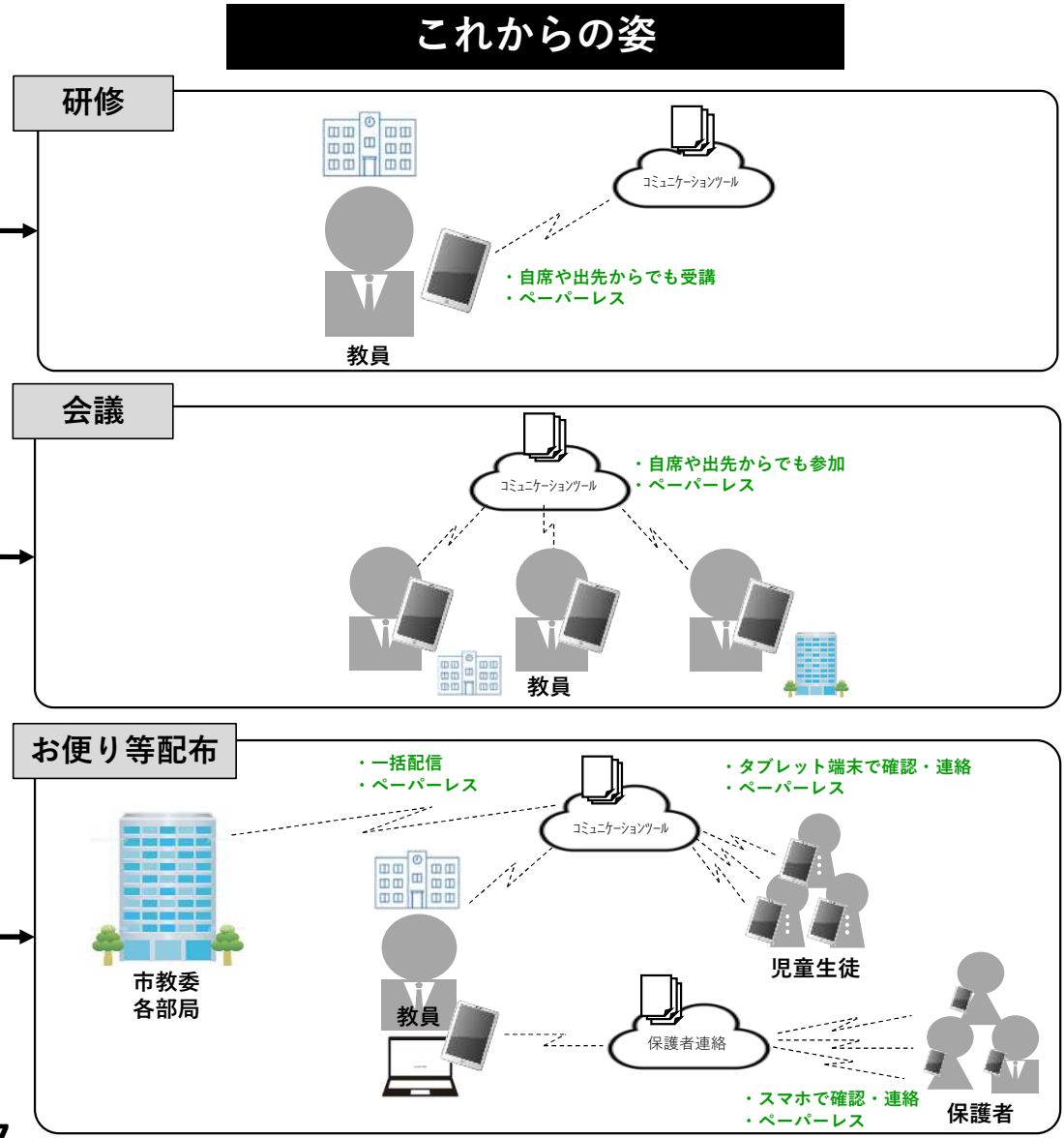
2) デジタルを活用したこれからの学校のように ②学びのようす



2) デジタルを活用したこれからの学校のようにす



③校務事務のようにす



2 進捗状況

【基本方針1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

施策と目指す姿（「岐阜市GIGAスクール推進計画」より）

施策① 日常的なデジタル活用による個別最適な学び・協働的な学びの実践

方針・目標	全ての学校で、1人1台タブレット端末の毎日の文具としての活用習慣の定着と、これらによる誰一人取り残さない個別最適な学び、協働的な学びを実践します。
-------	---

施策② 基礎的・基本的な学習内容の定着

方針・目標	全ての学校で、学習支援ソフトの有効活用等による児童生徒一人ひとりに応じた個別最適な学びと教員の効果的な指導により、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ります。
-------	--

施策③ 企業や学術機関・地域と連携した学校と社会を繋ぐ学びの実践

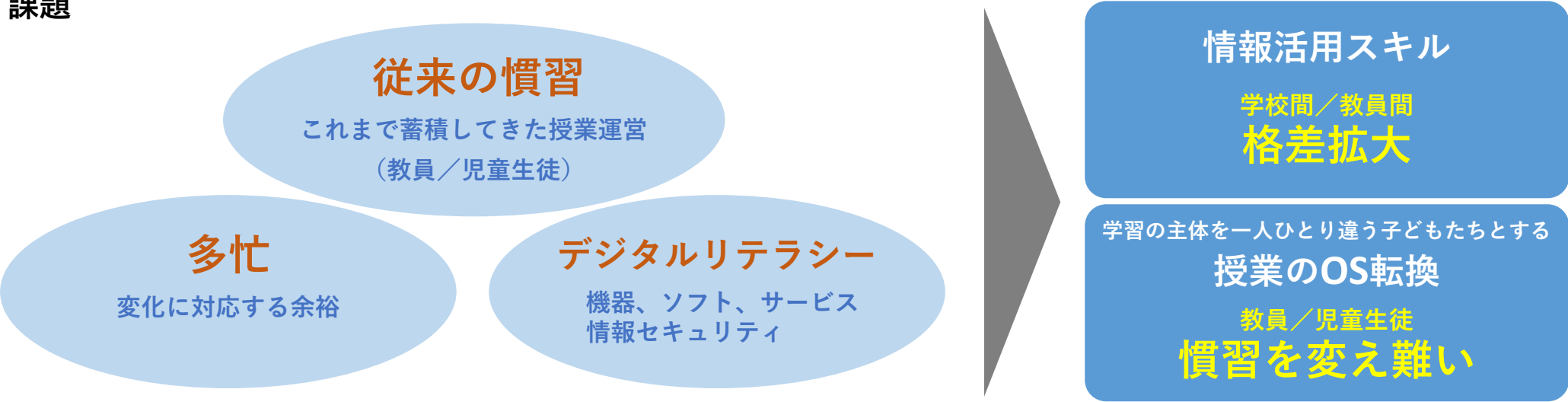
方針・目標	全ての学校を対象に、オンラインを活用した企業や学術機関・地域と連携した「君の未来を拓くプロジェクト」の実践により学校と社会を繋ぐ学びを充実します。
-------	---

1) 従前の取組みと課題

従前の取組み

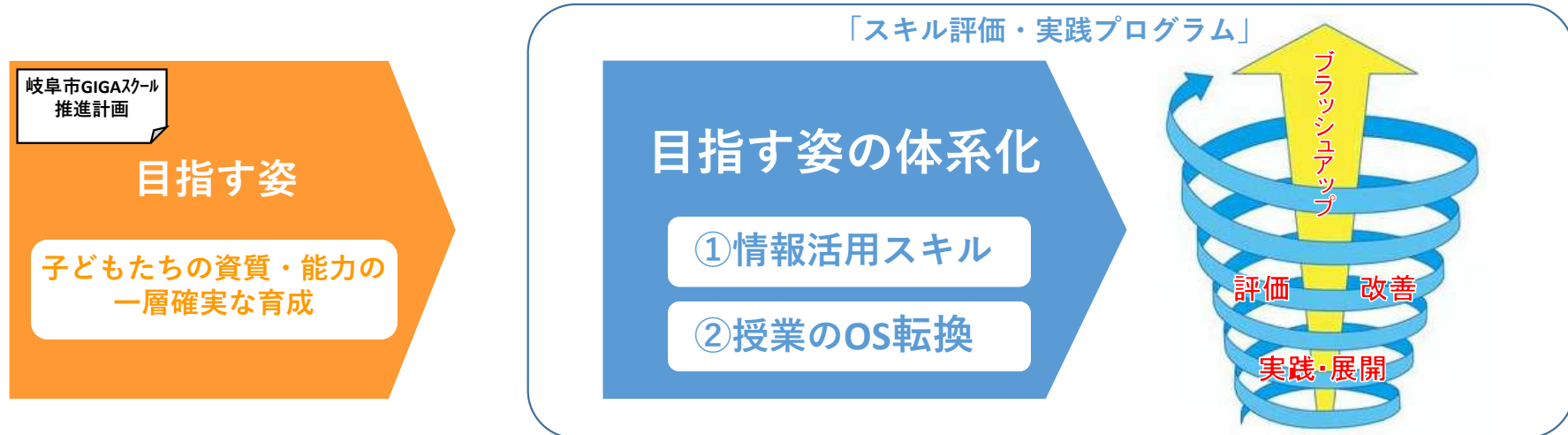
令和2年度			令和3年度				令和4年度			
		タブレット端末貸与								
		オンラインコミュニケーションソフト導入								
			授業支援ソフト導入							
				学習支援ソフト導入			新学習支援ソフト導入			
		活用研修（ソフト別、レベル別、各校担当向け、希望者向け 等）								
		事例集共有（教科毎、単元・場面毎）								

課題



2) 新たな取組み

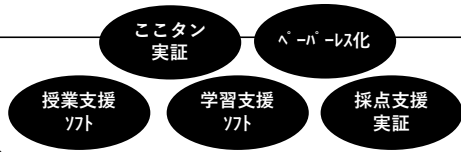
① 実践・評価・改善 を継続的に図れる枠組み整備



② その他

◆学校管理者の情報共有と意識改革

GIGAスクール推進本部（小中学校長会）と連携
 活用ログやアンケート結果に基づき、
 活用推進校の校長による校長会で自校の実践事例プレゼン



◆草の根作戦

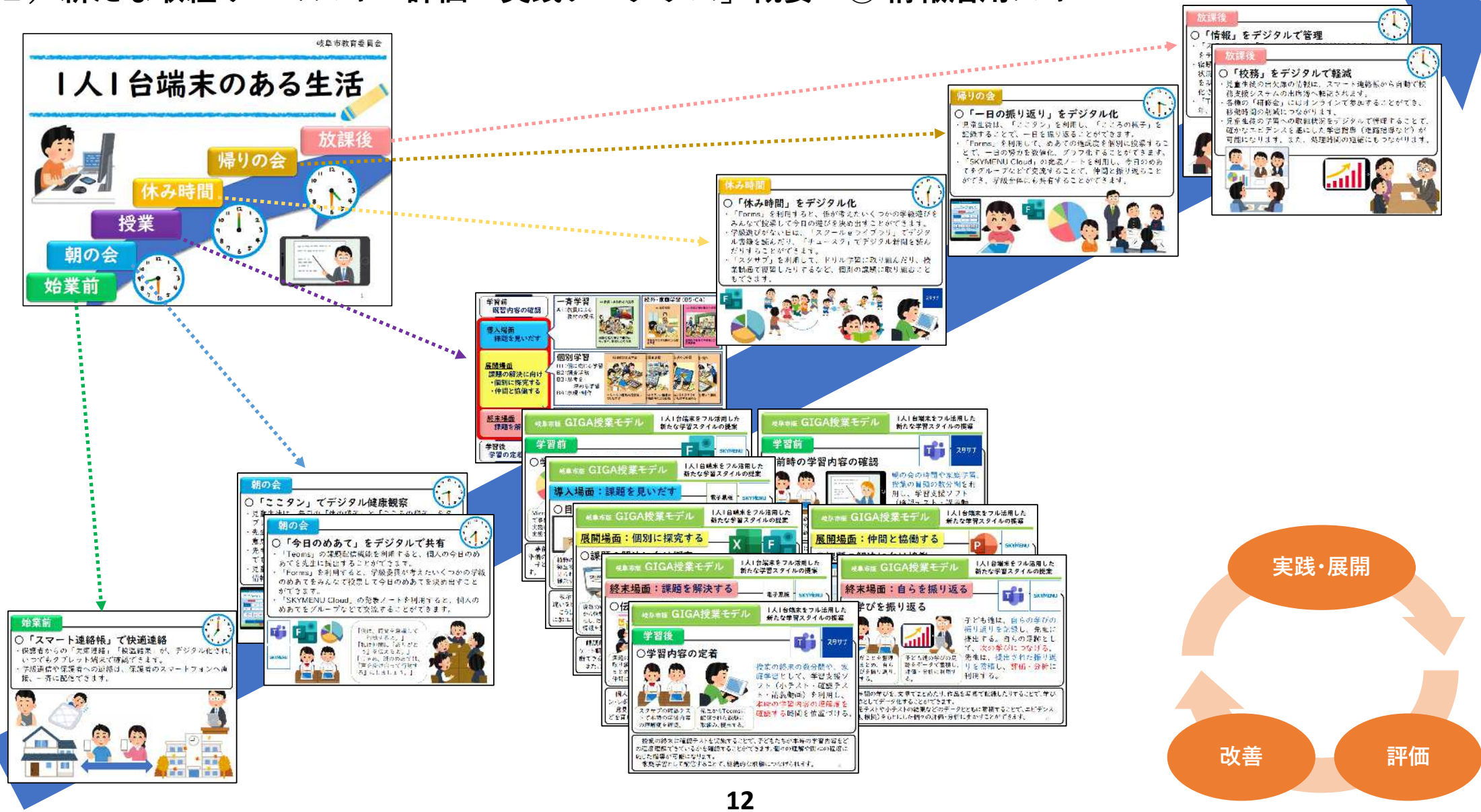
活用ログに基づく活用に課題のある学校等への出前講座 R4年度：45回実施（予定）

「出前講座」アンケート結果

・参考になった	91%
・授業や事務で活かしている	81%
・別のテーマも受講したいか	83%
・他校にも進めたいか	89%

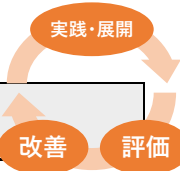
回答教員数：14校 180名

2) 新たな取組み 「スキル評価・実践プログラム」 概要 ① 情報活用スキル



2) 新たな取組み 「スキル評価・実践プログラム」 概要 ② 授業のOS転換

	従来	これからの姿
学習前		反転学習 学習支援ソフト
導入場面	教員 問題提示・課題の明確化	教員 児童生徒 問題提示・課題の明確化 意見表明 授業支援ソフト
展開場面	教師の指示で意見交流 課題の焦点化 教師の指示で全体交流	主体的・対話的で深い学び 学び合い 動画で学習 学び合い 課題の焦点化 学び合い 全体交流→課題解決 まとめ 評価問題・ノート提出 授業支援ソフト 個別最適・協働的な学び
終末場面	まとめ	授業支援ソフト
学習後	教員 児童生徒 宿題提示 添削・返却	教員 児童生徒 宿題配信 進捗・習熟度確認・フォロー



【基本方針2】教職員の働き方改革

施策と目指す姿（「岐阜市GIGAスクール推進計画」より）

施策④ 会議・研修・情報伝達・共有における事務の効率化

方針・目標	全ての学校で、会議、研修、情報の伝達・共有はオンライン化・ペーパーレス化を原則とし、事務の効率化を図ります。
-------	--

施策⑤ 学校と保護者・地域間の連絡の効率化と利便性向上

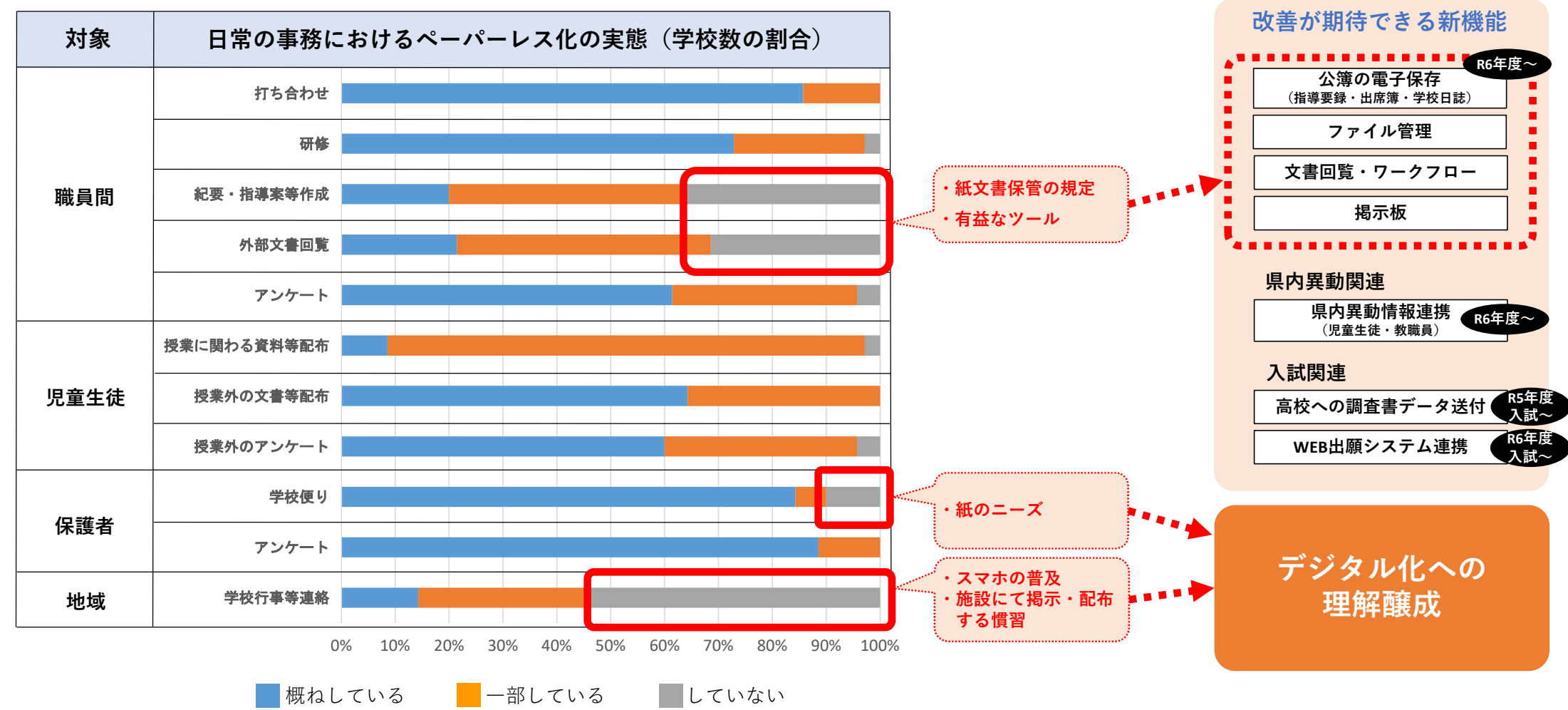
方針・目標	全ての学校で、学校と保護者・地域間の連絡手段について、デジタルを活用し、利便性向上と事務の効率化を図ります。
-------	--

施策⑥ 教職員勤怠管理の更なる適正化

方針・目標	全ての学校で、教職員の勤怠管理について、デジタルを活用した効率的・効果的な運用により、更なる適正化を図ります。
-------	---

1) 実践状況 施策④「会議・研修・情報伝達・共有における事務の効率化」

学校のペーパーレス化推進状況（2022.12）



1) 実践状況 施策⑤「学校と保護者・地域間の連絡の効率化と利便性向上」

「スマート連絡帳」実績（6月～12月）

◆保護者登録率 99.1%

◆欠席等の連絡 190,333件
※1校(園)1日 23件

電話連絡がアプリ連絡に

◆お便り等の配信 1,186,726枚
※1校(園)1日 143枚
※年間換算 2,063,871枚

ペーパーレス化

◆教員の削減時間 毎朝の欠席等の連絡：15分
毎朝の検温報告：15分

・子どもたちに向き合う時間確保
・授業準備時間確保

1) 実践状況 施策⑤「学校と保護者・地域間の連絡の効率化と利便性向上」

「スマート連絡帳」課題と対応方針

【保護者】

◆全体満足度：78.8%

◆改善要望

満足でない主な理由

- ・欠席等連絡：学校に連絡が伝わっているか不安
- ・検温報告：入力を忘れてしまう
- ・お便り等配信：紙でもらえた方がよい

主な改善要望

- ・通知機能の改善、ログインの簡素化

運用面
運用面
運用面

機能面

デジタル化への
理解醸成

【教員】

◆課題

◆改善要望

・欠席等連絡：保護者に連絡を要する場合がある

・検温報告：報告率が低いことによるフォロー

・お便り等配信：既読の率が低いことによるフォロー

・通知機能の改善、ログインの簡素化

運用面
運用面
運用面

機能面

バージョンアップ実績・予定

対象	2022年			2023年	計
	6月	9月	12月	予定	
教員向け	5(4)	4(3)	1(1)	6(3)	16(11)
保護者向け	1(1)	2(2)	－	3(3)	6(6)
システム管理	1(0)	1(1)	－	1(0)	3(1)
計	7(5)	7(6)	1(1)	10(6)	25(18)

※ () 内要望対応

1) 実践状況 施策⑥「教職員勤怠管理の更なる適正化」

学校管理者活用ログ

管理者による
勤怠状況の確認回数

各校月平均 2 回 ⇒ **3 3 回**

学校管理者アンケート（148名）

有効になったこと（主な意見）

いつでもリアルタイムで職員の勤怠状況が把握できる（105名）

月の途中でも適宜出退勤状況に応じて指導ができる（85名）

出退勤管理に関わる負担が減った（78名）

管理者の平均削減時間：66分／校・月

より効果的に
より適正に
勤怠管理に努めている

主な要望

職員自身の時間外理由の入力簡素化（67名）

職員自身がいつでもリアルタイムで自分の超勤状況を確認できる（60名）

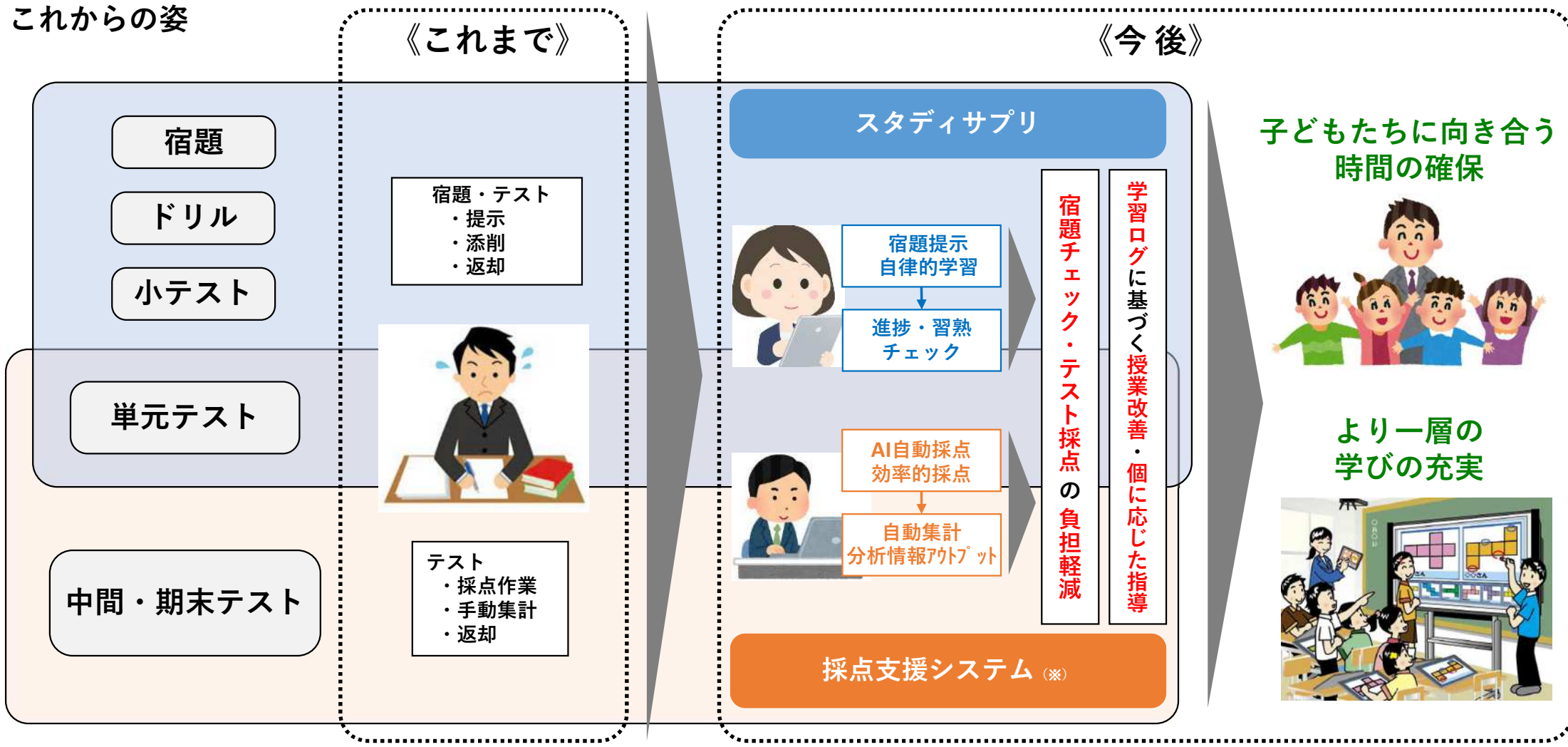
設定時間に近づく際、超える際に職員にアラート通知が出る（58名）

事業者と協議

令和5年度
機能改善予定

2) 新たな取組み 「採点支援ソフト」 実証

これからの姿



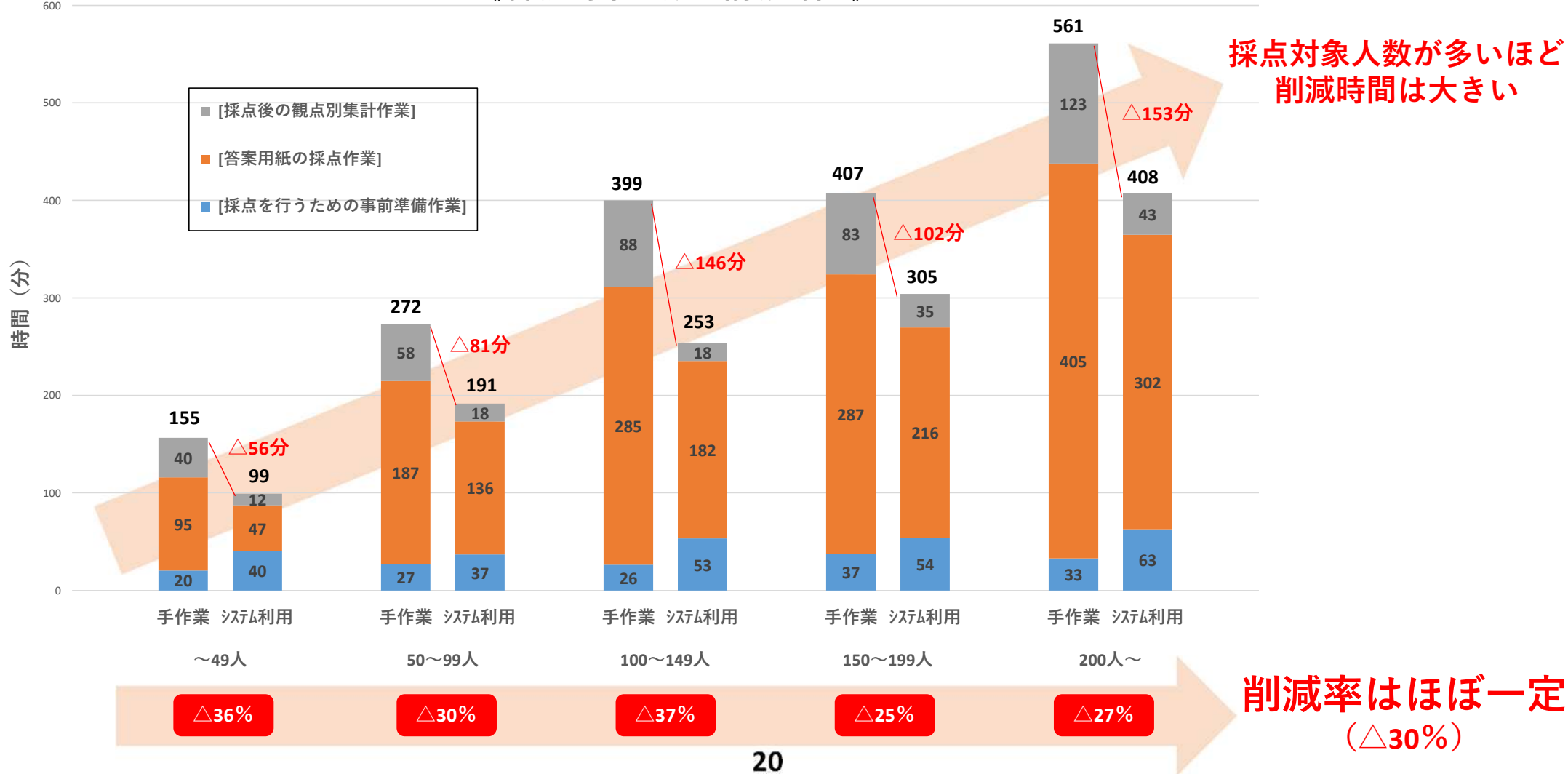
(※) テストがCBT化されるまでの間の手段
CBT (Computer Based Testing)
試験における工程を全てコンピュータ上で行う事

2) 新たな取組み 「採点支援ソフト」 実証

回答者：中学校12校 123名

削減効果（採点対象人数別）

《 採点対象人数別削減時間 》

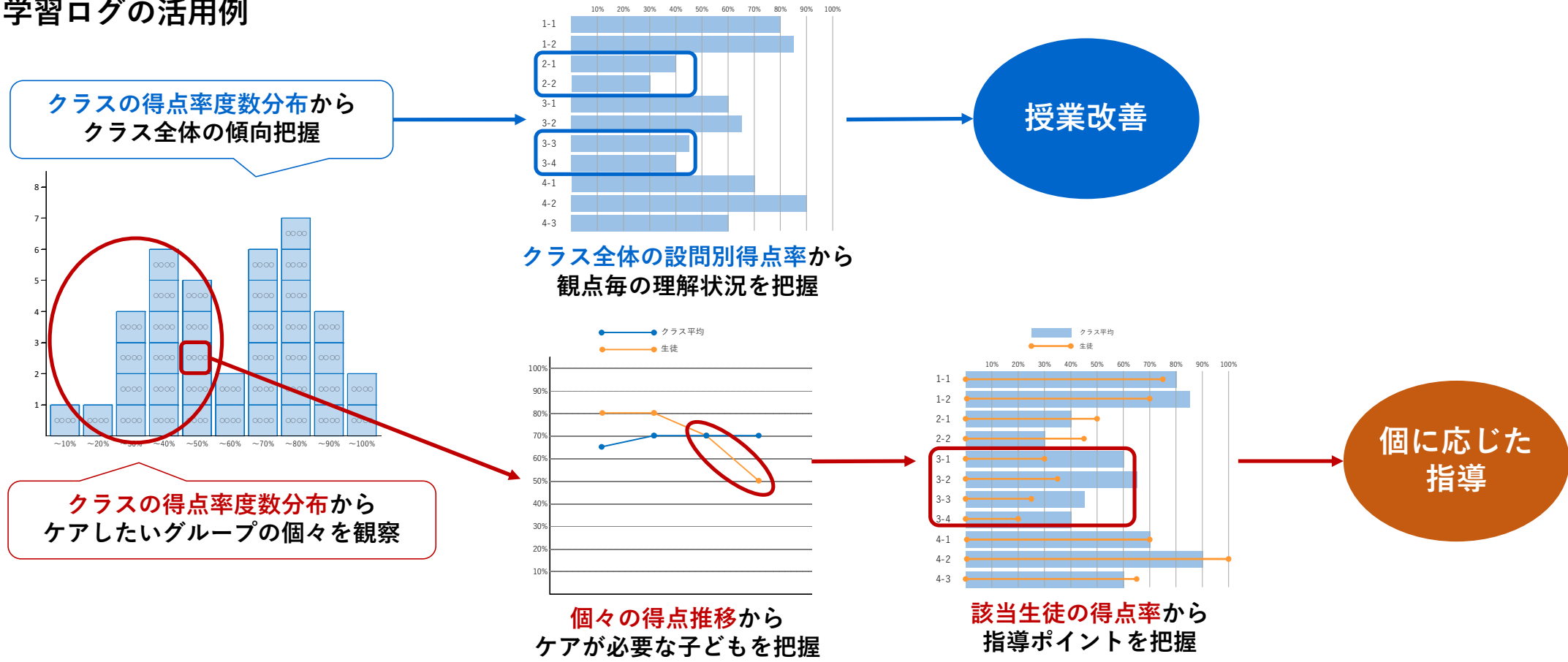


2) 新たな取組み 「採点支援ソフト」 実証

回答者：中学校12校 123名

テスト採点データが可視化され、指導すべき学習課題や指導すべき生徒・指導ポイントを把握
⇒ エビデンスに基づくより効果的な指導の実現

学習ログの活用例



【基本方針 3】 児童生徒の健康面の配慮

施策と目指す姿（「岐阜市GIGAスクール推進計画」より）

施策⑦ ICTを活用した『子どもの健康』サポート

方針・目標	全ての学校で、『子どもの健康』サポートについて、デジタルを活用し、チーム学校による児童生徒のケアの更なる充実を図ります。
-------	--

施策⑧ 学校健康診断情報 P H R への活用

方針・目標	学校健康診断情報の P H R（Personal Health Record ※）への活用について、国の指針・工程表に沿って、適切なタイミングで必要な手配を進めます。
-------	---

※生まれてから学校、職場など、生涯にわたる個人の健康等情報をマイナポータル等を用いて電子記録として本人や学校が正確に把握する仕組み。

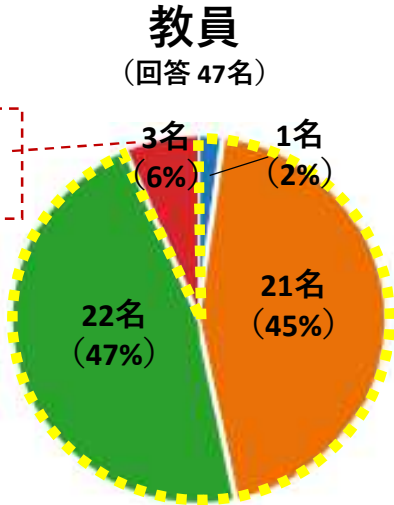
1) 実践状況 施策⑦「ICTを活用した子どもの健康サポート『ここタン』」

実証校：柳津小、陽南中
(6～12月)

満足度

「あまりよくない」選択者の主な意見

- ・通知機能が欲しい (1件)
- ・心の様子の5段階の是非 (2件)

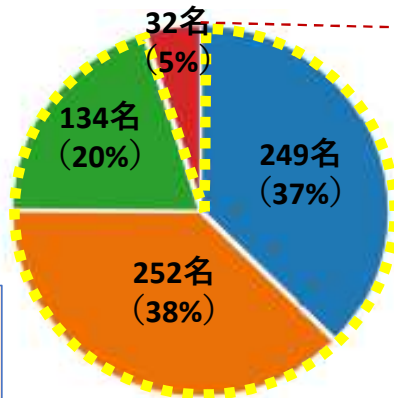


9割以上が満足

児童生徒
(回答 667名)

「あまりよくない」選択者の主な意見

- ・ログインが面倒 (7件)
- ・毎日やるのは負担 (3件)
- ・やる意味がない (2件)



・ただの作業になっている。
・悩んでいる人で「きいてほしい」ができる人はあまりいないと思う。

主な意見

本取組みで効果のあった点 (選択肢より)

- ・いままで気付かなかった児童生徒の**変化**に気付けた (13件)
- ・複数の先生で**情報を共有**し対応することができた (8件)
- ・要フォローを必要としている児童生徒が分かり、**早期の声掛け**に繋がった (6件)

本取組みで良かったところ (選択肢より)

- ・自分の体と心の様子がわかるようになった (185件)
- ・朝と夕方に入力することで**一日を振り返る**ことができた (86件)

「きいてほしい」の良かったところ (選択肢より)

- ・自分から**言い出しにくい**時に先生から声をかけてもらった (5件)
- ・先生に**言えなかった**ことが**言いやすくなった** (5件)
- ・困ったときに**聞いてほしい**先生に聞いてもらった (3件)

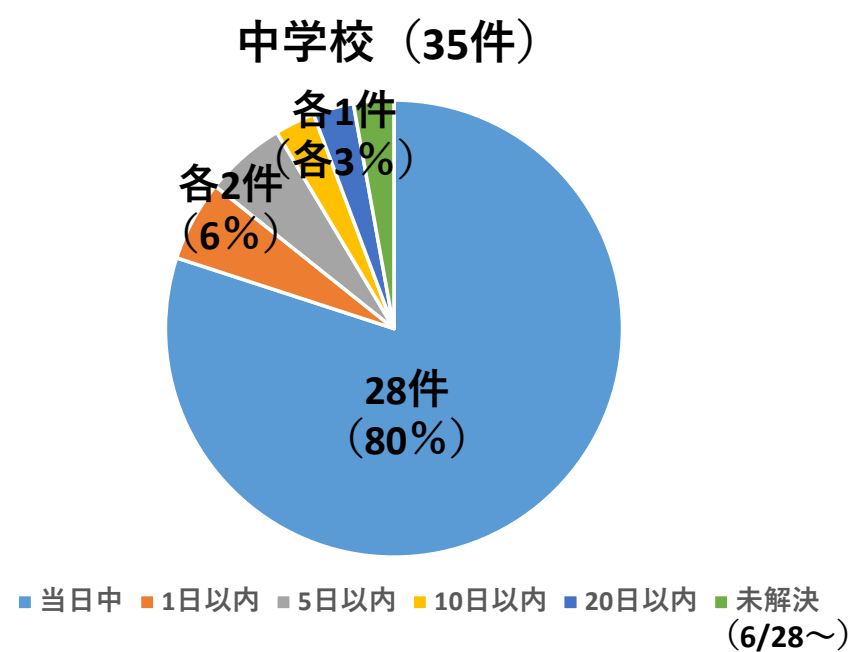
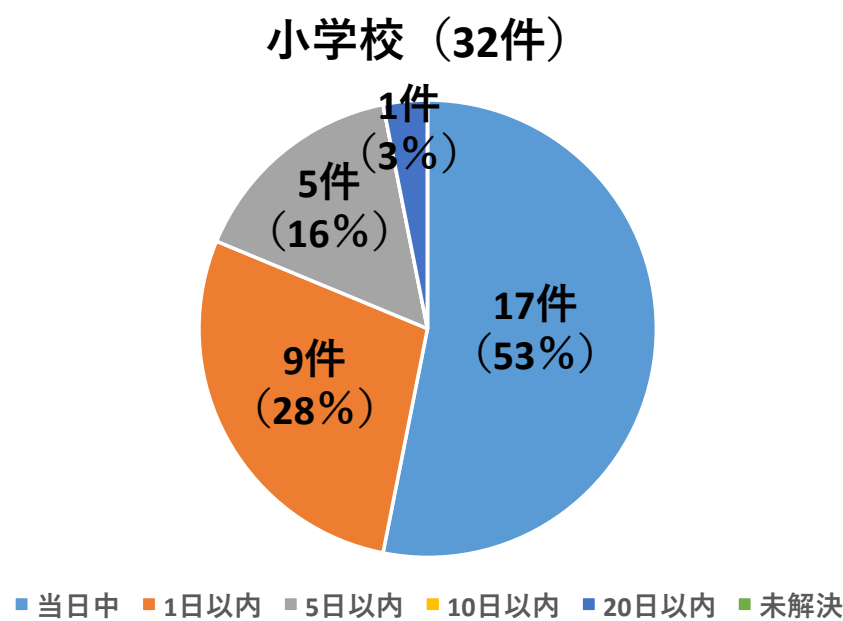
※使ったことがあると回答した24名中

1) 実践状況 施策⑦「ICTを活用した子どもの健康サポート『ここタン』」

実証校：柳津小、陽南中
(6～12月)

「きいてほしい」発信事案のCLOSE期間

※「きいてほしい」発信後、「頑張ってみる（CLOSE）」「未解決」分（児童生徒自らキャンセル、学校側でCLOSEした分は含まず）



多くは当日もしくは翌日にCLOSE
⇒ 学校は即時対応で問題の芽を摘めるよう努めている

1) 実践状況 施策⑦「ICTを活用した子どもの健康サポート『ここタン』」

実証校：柳津小、陽南中
(6～12月)

これまで気付けなかった小さな変化が「ここタン」で把握できケアに繋がった事例

日々の
体のようす

生徒が「頭痛」を選択したため話を聞いたら、
夏休み中から不眠や受験で悩んでいることがわかった。

⇒ 保護者に知らせ、その後、保護者と情報共有し、継続してケアをしている。

日々の
心のようす

いつも「3」とつけていた生徒が「2」とつけていたので話を聞いたら、
受験に関することで悩んでいることがわかった。

⇒ 保護者と情報共有し、継続してケアをしている。

きいてほしい

「きいてほしい」が発信されたためすぐに話を聞き、
学級や家庭で困っていることを把握した。

⇒ スクールカウンセラーにつなげ相談を実施した。
この情報は担任、保護者とも共有され、継続してケアをしている。

【基本方針 4】 デジタル環境の最適化

施策と目指す姿（「岐阜市GIGAスクール推進計画」より）

施策⑨ 多様な学びの姿に柔軟に対応できる未来の教室づくり

方針・目標	全ての学校で、デジタル環境の最適化による未来の教室づくりを推進します。
-------	-------------------------------------

施策⑩ 効率的かつ堅牢な校務系デジタル環境の最適化

方針・目標	全ての学校を対象とした、教職員の利便性向上とセキュリティに配慮した最適な校務事務のデジタル環境整備方針を決定し、令和7年度以降の整備に向け必要な手配を進めます。
-------	--

1) 取組みの全体像

背景

課題

- ・教員の多忙／ワークライフバランス充実
- ・利便性／情報セキュリティ

デジタル技術の進展

- ・クラウドサービスの充実
- ・新たなセキュリティ対策

文科省指針

- ・「情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」改訂
- ・「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門会議」中間報告（2022.8）
- ・「学校におけるICT環境整備の在り方に関する有識者会議」（2022.12設置⇒2025年新指針策定）

取組み対象

校務系環境

～R7年度

- ・フルクラウド化・ゼロトラストセキュリティ

教室環境

～R6年度

R5年度

- ・全教室大型提示装置更新
- ・小規模校連携環境整備

端末・ソフト

～R7年度

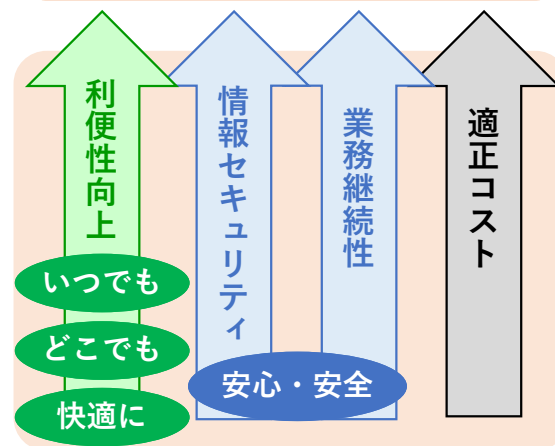
適宜

- ・次期タブレット端末・校務パソコン更新
- ・学習系・校務系各種ソフトの評価・見直し

目指す姿

学びの充実
働き方改革

の成果を最大化できる環境整備



【基本方針 5】 デジタル人材の育成

施策と目指す姿（「岐阜市GIGAスクール推進計画」より）

施策⑪ 児童生徒・教職員の情報モラルを含む情報活用スキル向上

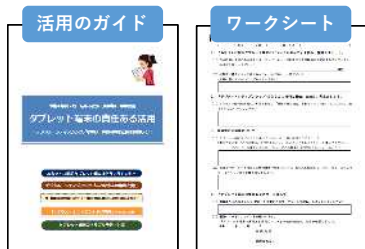
方針・目標	全ての学校で、デジタル・シティズンシップ教育の概念に基づき、児童生徒、教職員の情報モラルを含む情報活用スキル向上と保護者の理解促進を図ります。
-------	---

施策⑫ 持続可能なデジタル専門組織の整備とデジタル専門人材の確保・育成

方針・目標	G I G A スクールの推進を牽引する持続可能なデジタル専門組織の整備とデジタル専門人材の確保・育成を図ります。
-------	---

1) 実践状況 デジタル・シティズンシップ教育

① 活用ガイドをDC版に刷新・周知



・より良く使う意識
・保護者の理解
醸成

保護者の声（抜粋）

- ・権利と責任、その通りだと思いました。子供にもプラスな使い方をして責任をもって利用してもらいたいです。
- ・タブレット端末は大変重要なツールであるので子供には物の大切さや使用方法を理解させ使用させます。

令和5年度

継続実施

② 「GIGAびらき」実証

実証（柳津小）

岐阜市教委

岐阜聖徳学園大学

・より良く使う意識
・保護者の理解
醸成

保護者の声（抜粋）

- ・楽しく良い使い方をしましょう。学校から借りているタブレット、大事に使おう。
- ・大事に使わせてもらっていっぱい新しい発見をしてください。
- ・楽しく勉強しましょう。

実施校
順次拡大

R5年度協力：岐阜聖徳学園大学
岐阜大学

③ 過度な通信利用者への対応

通信使用状況
毎月点検

技術的対策

人的対策

（保護者の理解醸成）

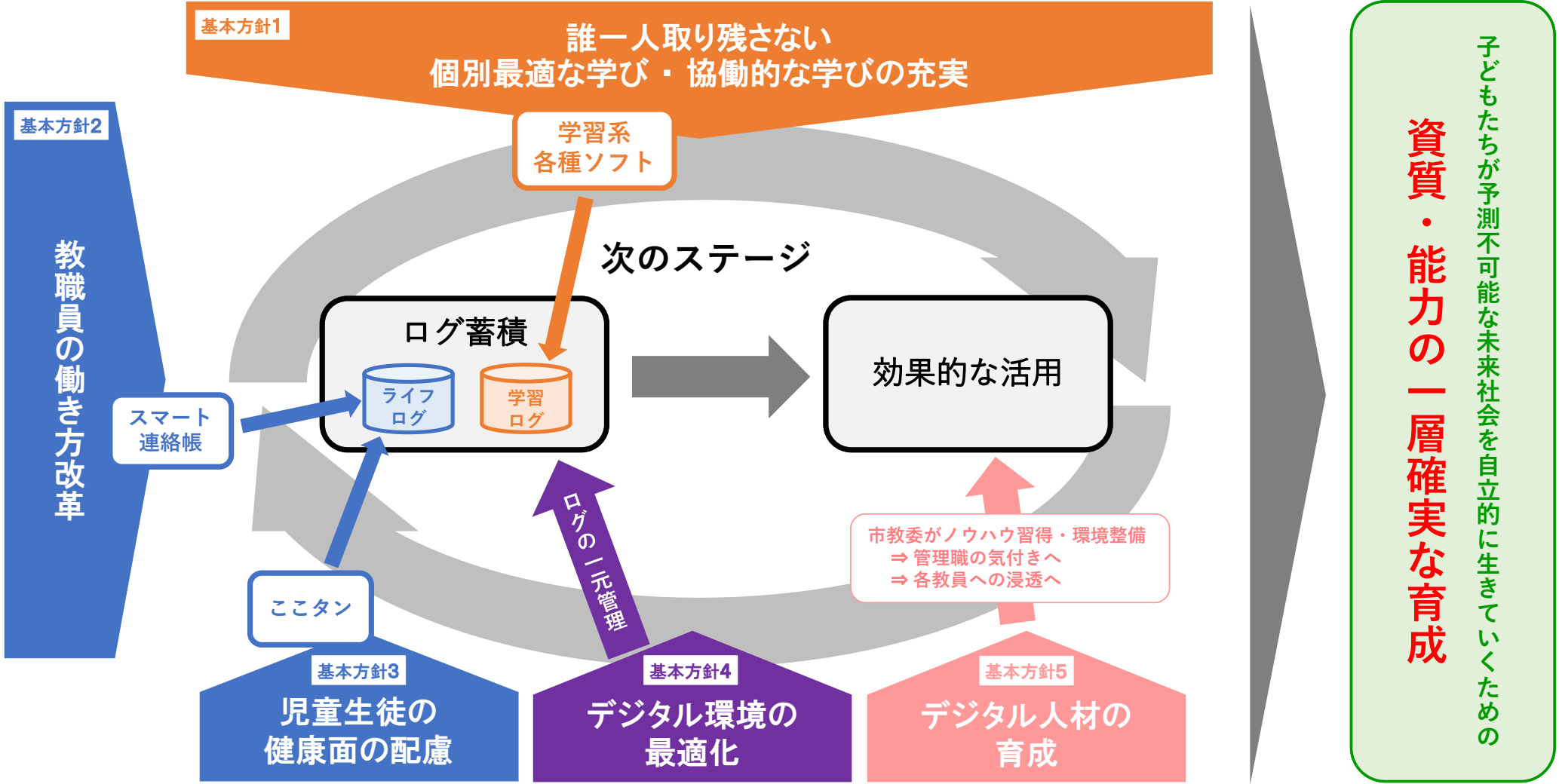
主な実施策

- ・フィルタリングソフトの脆弱性対策強化
- ・深夜帯の通信遮断
- ・（必要に応じ）保護者によるタブレット端末利用時間帯制限
- ・過度な通信利用者への聴き取り・指導（保護者とも情報共有）
- ・全利用者タブレット端末にDC教育に基づく注意喚起の壁紙設定
- ・毎月5GBを超えた利用者のタブレット端末に注意喚起メッセージ表示

継続実施

3 今後の取組み

日常的なデジタル活用 ⇒ 学習ログ・ライフログの活用



本日は、主に**以下の事項**について、**ご協議**いただきたい

● デジタルを活用したこれからの学校の実現に向けて必要な取組等について

- ・ デジタルを活用した学びの充実
- ・ デジタルを活用した教職員の働き方改革

に関するご意見・ご提案